

危険です!

40代からの

Photo / Tomoko Nagayama (model)
Tokuoasa Obara (AGIST) / (sty)
Krischer / Kiyotake Okamoto
Haru-Maki-ay / Kazu Nagai Model / (sty)
Tori / Kazumi Nakajima
(P&A - P&A)
Nasumi Takemoto,
(P/O - P/O)
K&A/Tot / Akiko Chikachi

忍び寄る「肌格差」

【スキンケア】美容、の新常識を知らないと
大きな差が生まれます

久しぶりに出席した同窓会。周りを見回してみると、年齢は同じなのに

年相応に見える人、若く見える人、老けて見える人と、見た目は実にさまざま。なぜ? 一体どこが違うの?

もちろん、それぞれのファッションや体型、ライフスタイルなどの違いもあるでしょうが、なんだかそれだけでは納得できない……。

もう一度、みんなの顔をじっくり見て! そう、明らかに肌年齢が違うのです。ズバリ、それこそが「肌格差」。

そして「肌格差」の開きが目立ち始めるのがまさにDRESS世代といわれています。

「肌格差」を最小限に食い止めるために、大切なのは、今、この時期のスキンケア。

洗顔から化粧水、美容液、アイケア、クリームなど基本のケアです。

そこで、美肌を保っている人たちにおすすめのアイテムとケア法を伺いました。やっている人とやっていない人では

確実に変わる「肌格差」。差をつけない&差を縮めるためにも、今すぐ基本ケアの見直しを!

証言◎ コスメジブシーだった皮膚科の先生

あらゆる基礎化粧品を試した結果に
たどり着いたのは??



皮膚科医

片桐衣理 先生

「ターンオーバーが速い、若い世代はケアを
して上げることがない、40代以上の肌。
必要な基礎化粧品は、実は洗顔化粧
水で保湿ケアの8割は足りるので、ここからと
行くと、肌の2割が乳液やクリームで十分な
水分を保持するんです」

かたまり 衣理 アメック美容クリニック、
美容皮膚科・内科医。自身の経験で十分な効
果を確立させた基礎のスキンケアジブシー。

【衣理先生推薦のスキンケア】

- 1 洗顔後の、「すっきり」「さっぱり」という感覚を捨て去ろう
何もかも取り去らないと洗った気がしないという洗顔は
大きな間違い。必要なのは不要を取り、必要を残す洗顔法です。
- 2 化粧水タイムを丁寧にすることで、肌のベースを作る
化粧水は肌に入れ込むことを意識。まぎコトンド、
次に手のひらで押え込むように重ねづけしましょう。
- 3 乳液・クリームは蓋、美容液はオプションケアと心得て
入れ込んだ水分を油分で蓋してキープ。
悩みや目的別の美容液をプラスして肌力を直上げましょう。